

## 2009年度「ブロック宣教司牧計画の評価」（舞鶴ブロック）

### I 信仰と共に伸びゆく共同体を目指して

- 「召命」について
  - 1 ミサの中で召命のための祈りや共同祈願時に祈ることが出来た。
  - 2 「召命」促進に関して、信徒自らが「知り」「考え」「選び」「祈り」「働く」ことを考える機会を作ると共に、ミサの中で召命促進に対する祈りを取り入れた。
- 部会制の充実について
  - 1 小教区評議会規約をもとに、部会制の充実を図ると共に、ブロックとして何が支援できるか模索して行く。
  - 2 各自の任務分掌を把握し、実践出来ない所もあったが、部会担当者が評議会において統括をした。
- 四旬節、待降節の黙想会について
  - 1 ミサやパーティーのスケジュールを書いた案内はがきを送付した。
  - 2 充実したプログラムで信仰の糧となった。
  - 3 舞鶴ブロック主催による黙想会が実施され、ブロック内での信徒たちの信仰を育む機会や交流ができた。
  - 4 信徒有志による小教区活動の活性化を検討するグループが作られ、数回の話し合いが行われた。今後も継続して話し合いが行われ、将来の方向性が見いだす事ができるように期待したい。
  - 5 四旬節、待降節の黙想会を企画、実施し、その他のブロックと取組むべき行事活動を模索した。
- 各種講座について
  - 1 「カトリックのいろは」参加者約30名(中丹3教会)で未信者の受講者もあった。「聖書に親しむ会」への参加者が少なかったが、信仰を育む機会が得られた。今後においては、一人でも多くの参加者を願う。
  - 2 新型インフルエンザで信徒大会が中止となり、2010年の大会を期待する。
- 集会司会者、臨時の聖体奉仕者の育成について
  - 1 北部地区の典礼学習会、教区の典礼学習会に参加することが出来た。
  - 2 今まで宣教司牧は、神父さまやシスター任せになっていたが、信徒の中にも本来の宣教司牧の姿が理解されはじめ、実施されるようになってきた。

### II ミサに多くの信徒が集う共同体を目指して

- 教会内外の奉仕活動について
  - 1 懸案事項であったトイレの改修は、体の不自由な方も使用できる多目的トイレに改修した。
  - 2 ミサ準備、朗読奉仕、共同祈願、聖歌隊、典礼用具管理と補充と強化
- 弱者、病者の訪問と教区の病人訪問研修会について
  - 1 主日ミサの参加のため、教会までの送迎と病弱者・ホームへの訪問
  - 2 ミサに来られない方のところに、ミサの録音テープを配布している。
- 典礼聖歌の練習を継続し、主日のミサに色々な歌を取り入れて歌えること
  - 1 努力したが、十分ではなかった。
  - 2 年間を通じ、第5日曜日は子供とともに捧げるミサとして定着している。聖書朗読、共同祈願、

一部オルガン伴奏等も子供たちが行き、自分たちも教会の大切な役割を担っているという意識を持つ機会になっている。

○ 資料の配布(教会行事の近況を知らせる・他)について

- 1 滞日外国人が教会へ来やすいよう、英語版およびスペイン語版の「聖書と典礼」やミサ式次第を備え付けるとともに、積極的に声を掛けるようにしている。
- 2 教会に来ることができない方の状差しに案内が溜まっているため、今年からはミサ時間等の案内も含めて郵送するようにした。
- 3 共同体として教会の外に向けての活動ができなかったと感じている。
- 4 主日のミサに外国人の参加者は、皆無であるが、平日に聖体訪問をしている滞日外国人がある。
- 5 降誕祭には、聖歌集を作り初めて教会に来た人でもミサに参加しやすいようにしている。
- 6 毎月「心のともしび」にお知らせを折込、個々の行事の案内を郵送等で行い、ミサや教会行事の参加を促しているが、ミサへの参加信徒は増加現象に無い。
- 7 教会・神父館・位牌堂の改修を行った。
- 8 集団改宗時の洗礼台帳等の資料・書類の保存に努めた。

### Ⅲ子供たちと共に成長する共同体を目指して

- 1 三教会合同子供行事参加により、親御さん達と教会の奉仕メンバーの方々との相互交流が出来た。
- 2 年間を通じ、第五日曜日を子供とともに捧げるミサの日に設定し、多くの子供たちが参加し役割を分担した。
- 3 毎月、第1,3,5日曜には、教会学校を開催し10名前後の子供たち(小学生)とその親たちが参加している。
- 4 京都教区の小学生侍者合宿に参加した。
- 5 春には、中高生が東西合同練成会(6名)や教区高校生会春合宿(3名)に参加した。
- 6 夏休みに小学生の東西合同サマーキャンプを実施。(中高生もスタッフとして参加)
- 7 中学生広島平和巡礼に参加した。(5名)
- 8 献堂記念バザーでは子供コーナーで子供たちに一役を担ってもらい、教会の一員である意識付けを行った。
- 9 中学生、高校生にはサマーキャンプや練成会を通して、教会とのつながりを意識する機会を作ることができた。今後も、中高生を中心にした機会を作っていきたい。
- 10 ブロック黙想会では、子どもの黙想会「ありがとうとごめんなさい」を行い普段参加していない子供も参加できた。
- 11 東西合同によるサマーキャンプ・中丹三教会合同で海水浴の実施できた。
- 12 今年も「子どもとともに捧げるミサ」を実施する事ができた。